

2. 電子ジャーナルが利用できない！？ ～適切にご利用についてのお願い～

【ご利用のブラウザの設定を今一度お確かめください】-----

資料を探す際に、電子ジャーナルを利用される方も多いのではないかと思います。

図書館へ出向かなくても、必要な資料へすぐアクセスできる電子ジャーナルはとても便利ですが、閲覧の仕方や Web ブラウザの設定によって、利用できなくなる恐れがあることをご存知でしょうか？

それは「大量ダウンロード」と見なされた場合です。

大量ダウンロードとは、同一 PC から短時間のうちに大量のダウンロードを行うことです。出版社では禁止している行為のため、もし大量ダウンロード（不適切利用）と見なされた場合は、大学全体として電子ジャーナルが閲覧できないよう利用を制限されてしまいます。

利用者が通常の閲覧を行っているつもりでも、下記の場合は大量ダウンロードと見なされることがあるので、注意が必要です。

■本文 PDF ファイルを、短時間のうちに次々開く

→ 本文を読まずにどんどんファイルを開くと、機械的に大量ダウンロードを行っている、と判断されることがあります。

※PDF ファイルを開く = 電子ジャーナルのダウンロード

■Web ブラウザの「リンク先読み機能」によるアクセス

→ ページの閲覧中に、バックグラウンドでページ内のリンクにアクセスを繰り返す機能で、これが大量ダウンロードと判断されることがあります。

Web ブラウザの設定を変更することにより、防ぐことができます。

▼対象ブラウザ：Microsoft Edge、Internet Explorer 11、Google Chrome、FireFox、Safari (Mac) 等

設定の詳細は[こちらから](#)

(<https://infonavi.sapmed.ac.jp/jpn/news/4305/> HP > 新着情報 > 電子ジャーナルの利用について)

このように、本人の意図しないところで、大量ダウンロードと見なされるケースが発生しています。

本人だけでなく、大学全体で電子ジャーナルを利用できなくなるので、必要な論文は、都度ダウンロードすることをお勧めいたします。ぜひ一度ご自身の利用方法を確認してみてください。